

第8回江東区長期計画策定会議  
会 議 録

日時：平成21年11月6日（金）19:00～20:10

場所：江東区文化センター6階第1会議室

【会議次第】

- 1．開会
- 2．事務局連絡
- 3．区民アンケート調査の実施結果について
- 4．「長期計画（分野別計画）＜素案＞」について
- 5．今後のスケジュールについて
- 6．閉会

【出席者】

<委員>（敬称略・順不同）

青 山  侖	苦 瀬  博 仁	緒 方  泰 子	小 川  哲 男
大 内  浩	山 本  加 津 子	曾 根  恵 美 子	浅 見  純 一 郎
日 向  恵	石 井  毅		

<事務局職員>

政策経営部長 大井哲爾 企画課長 押田文子

【傍聴者数】 0名

## 【議事概要】

### 1．開会

会長

- ・第8回江東区長期計画策定会議を開催いたします。まず事務局から連絡がございます。

### 2．事務局連絡

事務局

- ・お詫びも含め、事務的な説明を2点ほどお伝えいたします。
- ・前回8月28日の会議の際に、委員の方に情報提供をしながら今日の会議には臨んでいただくという形でご説明いたしました。その後、区民アンケート等を実施し、これからその詳細をご説明させていただきます。しかし、長期計画を策定する中で、国政選挙等があったことなどにより、急に財源の状況が変わり、今まで我々が頭で思い描いていた計画が財源的に全くはまらなくなってしまう、作業がかなり難航しました。
- ・そのため、皆様方には途中経過をご説明できるような内容にはならず、全体像をお見せできるような状況ではございません。後ほど、日程の問題も含めて改めてご相談させていただきますが、2ヶ月ほどは手を付けられないような状況でした。そういった点をご理解いただいた上で、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

会長

- ・ありがとうございました。本日は成果指標アンケートなどについての成果をお伝えいただきしたいと思います。それでは、連絡事項をお願いします。

事務局

- ・よろしくお願ひします。それでは、お手元の資料の確認をお願いいたします。
- ・机上に配布いたしました会議次第に、配布資料の一覧がございますのでご確認ください。欠けているものがございましたらお伝えください。資料40から資料45までになっています。

### 3．区民アンケート調査の実施結果について

会長

- ・それでは、まず区民アンケートの結果についてのご説明をお願いいたします。

事務局

- ・それでは、まず資料の40、41、42についてご説明いたします。広報でもお伝えしたとおり、長期計画に示す成果指標の現状値を把握するために9月に区民アンケートを行いました。
- ・まず、資料40をご覧ください。内容をご説明いたします。成果指標の現状値の部分で、区民の意向や意識を把握する調査を行いました。資料40にございますが、区内全域の満20歳以上の男女を対象に郵送により行いました。の通り、3,000サンプル抽出し、

有効回答数は1,336サンプル、回収率は44.5%でした。区民の協力もあり、かなり有効な回答を頂戴いたしました。

- ・ 2、3ページをご覧ください。回答者について記載してあります。調査対象全体の男女比は5：5だったのですが、回答者の割合では、女性のほうが多いという結果でした。また、 のように、20代、30代の回答は少なく、60代以上の方の回答を多数頂きました。
- ・ もう1枚おめくりください。4、5ページでございます。まず、職業についてです。お答えいただいた方の多くは、在宅の専業主婦や無職の方の割合が多く、次に会社員の方の回答が多いという結果でした。5ページをご覧ください。 は世帯の構成でございます。親と子という構成がもっとも多く、夫婦だけという構成も約3割を占めていました。 なのですが、住宅の形態は分譲マンションの割合が最も高く、次いで一戸建てという結果でした。以上が、回答者の基本的な属性を示したものでした。
- ・ 次に、アンケートの中身で特徴的な部分についてご説明したいと思います。資料の42をご覧ください。こちらが、3,000人の対象者にお送りしたアンケート調査票です。指標を取るためのアンケート項目は42問用意いたしました。このアンケートを設計するにあたって、担当する職員の親御さんに事前に回答していただき、回答のしやすさをチェックいたしました。区からの質問としては、かなり答えやすい簡単な質問になっています。その分、いい結果が出ている部分もあると思います。
- ・ 資料42の2、3ページをご覧ください。問3「あなたは、今、子育てをしやすい環境の中で子育てに取り組んでいると思いますか」という質問に対して、6つの選択肢を用意いたしました。資料41において、回答の中で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を選択した割合を2つ合わせ、「 子育てがしやすいと感じている保護者の割合」としてまとめ、指標値46.6%と算出しています。
- ・ また、3ページの問6では「児童虐待防止」に関する項目として設問を設定いたしました。これは、区役所や子ども家庭支援センターが相談窓口となっていることをアナウンスしながらの設問とし、「虐待に関する相談窓口の存在を知っているかどうか」という質問にいたしました。資料41の2ページ問6のように、「知っていた」という回答が4割弱、「知らなかった」という回答が6割強という結果でした。区役所や子育て支援センターが相談窓口になっているということは、約4割の方が認知しているという結果です。
- ・ 次に、資料42の7ページ問22をご覧ください。こちらは、ストレスに関する項目として設定いたしました。「あなたは仕事や家庭などの日常のストレスを解消する方法をお持ちですか」という質問に対して、6つの選択肢を設けました。この中で「3.どちらかといえばストレスの解消は苦手である」と「4.ストレスの解消はできていない」をまとめて指標に用い、資料41のように、指標値としては23.4%という結果を得ることができました。
- ・ こうした形式でアンケートを行いました。アンケートの結果として興味深い数値は出て

いますが、今ご説明した何点かのような形で出てきた数値をまとめながら、指標の見方を合わせてございます。以上で、アンケートについてのご説明を終わりにします。

会長

- ・ありがとうございます。それでは、アンケートについてご質問がある方はいらっしゃいますか。

委員

- ・今頂いた結果は、ある種、単純な集計結果であると思うのですが、今後、クロス集計など、詳しく見ることはないのでしょうか。

事務局

- ・こちらは9月に終わったものをまだ指標としてまとめただけですので、今後きちんとした分析を行って、まとめていきたいと思えます。

委員

- ・そうすれば、たとえば戸建てに住んでいる方がこうであるとか、この取り組みについてはどうであるとかというような傾向が見えてくるはずなので、単純集計自体は大事ではあるのですが、もう少しいろんなアプローチで分析する必要があるでしょう。

委員

- ・少しご質問したいのですが、この指標が計画のスタートになると思うのですが、予想以上に数値が良かったとか、改善する余地の無いというようなものがあったのでしょうか。

事務局

- ・このあと長期計画の説明をする中で、お時間をいただいて、そういったことについてご説明しなくてはならないのですが、たとえば住環境や水と緑の指標については、現長期計画までに行った世論調査などがあって、その指標と大きな乖離があるものもありました。水と緑に関してや住環境については、そんなに高い数値の設定はいらなかったのですが、あとでご紹介いたしますが、今回得られた数値は高いという結果でした。なので、目標値の設定の見直しも必要であると感じています。

委員

- ・簡単にアンケートの結果を見ても、割と区民は江東区に好意的である、満足しているという感じがするのですが、そうするとこれから困りますね。

事務局

- ・おっしゃるとおりで正直申し上げますと、回答率も含め、頂いた答えというのは、よくできた答えになっていると思います。ただ、今回が初めてで、設問も大変答えやすかったという部分もあり、これから毎年度、進捗を把握していったら、何年かやらないと安定した数字にはなっていないのではないかと感じています。
- ・しかし、ご指摘の通り、良い結果が出ているというか、とても不満であるという結果が出ているわけではない、というのは承知しております。

委員

- ・細かいことですが、最後のページの問 41「計画の実現に向けて」についてですが、資料 41 では「江東区政が区民に対して開かれていないと思う区民の割合」と書いてありますが、資料 42 では「開かれている」となっているのは、どういうことですか。

事務局

- ・数値の取り方で「開かれていないと思う割合」を「3.どちらかといえばそうは思わない」と「4.そう思わない」の足したところ。逆に、良い数値というわけで取ったわけはありません。

委員

- ・では、あがった方がよい指標と下がったほうがよい指標があるという理解でよいですか。

委員

- ・問 41 の指標は下がったほうが良いということですね。

事務局

- ・そうです。指標で言うと 0 になることが望ましいということです。資料 41 と資料 42 の項目は一致しており、表の通りになっています。

委員

- ・指標としてどの水準を取るかというのは、何か決まりごとはあるのですか。

事務局

- ・その部分は後ほど、長期計画の説明の中であわせてご説明したいと思います。

会長

- ・今日は長期計画の成果指標についての議論を行っているので、アンケートについての論点は、そのまま計画の成果指標の取り扱いに直結するので、後ほどのお話していただきたいと思います。それでは素案について説明をお願いいたします。

#### 4. 「長期計画（分野別計画）＜素案＞」について

事務局

- ・資料 43 の素案の成果指標についてご覧ください。9 月に実施した区民アンケートと業務取得でそれぞれ出した数値をもとに、138 の指標案の現状値と目標値を設定いたしましたのでご説明をしたいと思います。
- ・138 の項目がありますが、区民アンケートで取る指標が 42、区の業務から出てくる指標が 96 あります。また、138 項目のうち、72 が新規に設定した項目、66 が既存の長期計画の中で設定されている項目です。
- ・まず、具体的な事例を見ていただくために、素案の 3、4 ページ「水と緑のネットワークづくり」をご覧くださいと思います。こちらは様々なパターンの指標になっています。3 ページの 5 つ指標のうち、「水辺と緑に豊かさを感じる区民の割合」の指標は区民アンケートから取りました。その結果、8 割近い方が「豊かさ」を感じているということでした。

- ・これは、だいぶ高い数値を示していると思います。目標値について、所管と相談したところ、現在でも 78%に達していますが、もう少し伸ばすことを目標に 85%に設定いたしました。これは、毎年 1%の上昇を見込んで行きたいと考えております。
- ・次に、「区民一人当たりの公園面積」は現在は 8.88%ですが、5 年後には 10%を目指したいと考えております。「水辺・潮風の散歩道整備状況」は目標値が調整中となっておりますが、先述の事情により、平成 22 年度以降の予算が固まっていないため、予算が絡む目標値の設定は今回は見送らせていただきました。
- ・「ポケットエコスペースの設置数」は、年 2 箇所ずつの増設で、54 箇所を目標としています。「水の緑に関するボランティア数」に関しては、目標値を持つというよりも、人の伸びを見ていく中で動向を見守っていきます。
- ・P.11、12 をご覧ください。こちらは 3 つの指標を設定しておりますが、別途作成しております環境基本計画との整合性を図り指標を設定しています。「区民 1 人あたりの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量」は平成 17 年度に設定した現状値 6.0t から、4.1t まで減らすこと目標にします。「地球温暖化防止設備導入助成件数累計」は予算が関わってくるものなので予算決定後に設定予定です。「庁有者の低公害車導入率」は現在の 72.1%ですが、5 年後には 100%に切り替えていきます。
- ・P.15、16 をご覧ください。保育サービスの充実に関しては、保育所待機児童をどうしていくか、ということが焦点となっております。現在 312 人のところを、H26 年度には 0 人の目標に向けて、施設の増設など、財政的な面をどうしていくのか、という点を喧々諤々と取り組んでおります。
- ・「一時保育の利用者数」につきましては、10,000 人から 29,000 人の利用を目指すということですが、財政的な面に関わってくるため今後も所管との議論が続いていきます。
- ・さらにこどもに関わる施策について、P.21、22 をご覧ください。「一人一人を大切にされた教育が行われていると思う保護者の割合」については、業務取得となっておりますが、毎年行っている「学校評価における保護者アンケート」に新規項目として加える予定で、その目標数値を 70%として定める旨を、所管から受けております。「不登校児童・生徒出現率」につきましては、平成 26 年度には小学校で 0.20%、中学校で 2.00%に抑えていきたいと考えております。
- ・P.43、44 をご覧ください。ご質問いただいたところを中心に取り上げています。こちらは「男女共同参画社会の実現」についてですが、「男女が平等だと思える区民の割合」は現在の長期基本計画に載っておりまして、世論調査でずっと数字を追っているところです。平成 11 年度に 27.7%でスタートし、40%という目標を掲げておりましたが、今回の区民アンケートでは 16.7%と上がりきらなかったため、現状の長期基本計画の目標値である 40%を定めています。
- ・もう一点ですが「区の審議会等への女性の参画率」は、同様に現状の指標を流用しておりますが、平成 11 年度に 25.4%だったものが、10 年かけて徐々に上昇してきている

ことから、10年後には40%といたしました。興味深い指標ですが「仕事と仕事以外の生活で充実した時間を過ごしていると思う区民の割合」の指標に区民アンケートを取りましたら、現状値が25.2%ということでした。10年後に倍の50%を達成したいということで、5年後には38%と設定しております。「DVの相談件数」については、指標を持つわけにはいきませんので、これは動向を見て行くことにいたします。

- ・ 指標については経過を「見ていく指標」と「成果の目標を持つ指標」と、さらには財政的な負担のかかるものについては、その活動量、「アウトプットを見る指標」の3パターンの指標で設定しています。数字の見方もこのようなところにあります。
- ・ さきほど議論になりました、P.51、52をご覧ください。指標については増える目標だけではないということは、おわかりいただけるかと思います。例えば、P.51の「ストレスの解消法を持たない区民の割合」は、現状値で23.4%というアンケートの結果が出ましたけれども、別の「健康プラン」という別の分野別計画との関連性から、10年後に1/3を目指すため、中間点として15.6%に定め、減らして目標を定めました。
- ・ P.75、76の「地域防災力の強化」をご覧ください。こちらの指標の決定の仕方ですが、P.75「家庭内で防災対策を実施している区民の割合」の現状値が45.0%となっておりますが、平成19年度実施の世論調査の結果では、76.8%まで到達していました。これは当時の調査で「家庭内で一つでも防災対策を実施している」というものを指標にしていたため、今回のアンケートでは、ハードルを上げて「3つ以上実施している」を現状値にいたしました。現状値が下がりはしましたが、協議の上でまた目標値を7割まで上げるという設定をしました。
- ・ P.81、82の「区民の参画・協働と開かれた区政の実現」をご覧ください。こちらの指標につきましては、先ほど議論に上がりました「江東区政が区民に対して開かれていないと思う区民の割合」は、アンケートの結果の14.7%を取りまして、行政の姿勢として0%を目指すという形で目標を設定しました。
- ・ また、「区の協働事業の数」については、これから事業化していく、もしくは協働の仕方を明確にしつつ、事業提案を受けていくような仕組みを平成22、23年で展開していくことを考えておりますので、まだまだですが計画を進行しつつ、これから数字が入ってくるというような指標です。

#### 委員

- ・ 既に現状値がかなり高いものがあると思いますが、あっという間に目標値を達成してしまった場合には、目標値を見直すということはあるのでしょうか。

#### 事務局

- ・ 前期、後期で長期計画を分けていますので、ひとつの目標は前期での達成と考えております。ただ、今回の指標は、単年度によるアンケートの結果をもとにしていますので、来年度以降も実施する予定の区民アンケートの結果から、その推移も見ていきます。それから、指標についても数字が変わってきた段階で、目標値を上げる、さらには指標を

違った角度で検討していくということもあるかと考えています。

委員

- ・今質問させていただいたのは、たとえば、問 20「自分が健康だと感じるかどうか」という質問に関して言えば、はじめに紹介されていた誤差率 2.7%というものが、この問 20にもほぼ変わらず当てはまると考えると、おそらく回答者のバイアスみたいのものがあって、健康だと思っているから答えられるのであって、本当の状態よりも、自分自身が健康だと思っている人が多いのではないかと思います。そういう意味で言うと、あっという間に目標が達成されてしまうことも考えられます。

委員

- ・P.21の学校のところですが「一人一人を大切にされた教育が行われていると思う保護者の割合」のアンケートはまだ行われていないとのことですが、これは例年どのくらいの数値なのでしょう。この70%という目標には、なんかしら根拠みたいなものがあるのでしょうか。
- ・また、「教育相談に訪れ、改善が見られた区民の割合」というのは、現在の67.7%から5年後の70%まで、ほとんど数値の開きがないのですが、これは何故なのでしょう。

事務局

- ・についてはこれから新規に設ける項目なので既存値はなく、いまは明確な根拠はないため、前向きな数値の設定と考えていただければと思います。
- ・については現状の長期計画から持ってきており、平成11年度では26.8%だったものが、平成19年度で61.3%まで上がって、平成20年度で67.7%という推移を見せており、一方で教育相談については改善までに時間がかかる傾向が目立つようになっていることから、相談の長期化の傾向等を踏まえて、ゆるやかな指標の上昇具合を考慮して70%という目標値を設定しました。

委員

- ・P.9「資源化率」についてですが、エコックルをはじめいろいろな取り組みをしているのだから、目標値はもう少しあげてもいいのではないのでしょうか。

事務局

- ・これは意向というものではなく、現在のごみの収集量、その組成等を分析して、今資源化できているもののトレンドをみながら数値をおいているので、これ以上の数値を設定するのはかなり厳しいところです。ただし、30%近い数字はこれまでのトレンドよりは上昇させているという数値です。
- ・廃プラスチックを利用したサーマルリサイクル等、あらゆる品目について計算し盛り込んでおり、都区内でもトップクラスの数字になっているので、決して低い値ではないと理解いただきたいと思います。

委員

- ・ご説明されていた次年度以降の区民アンケートは、今後も同じ時期に実施していくので



しょうか。

事務局

- ・区民アンケートは毎年実施していく予定です。何月に実施していくかは具体的に考えてはいませんが、来年度以降はアンケートの結果を評価に用いていくつもりなので、その評価を行うスケジュールに合わせて実施していきたいと考えています。

委員

- ・例えば、P.53「手洗い・うがい・咳エチケットを励行している区民の割合」についてなんですが、今インフルエンザが流行っていることなどを考えると、ちょうど意識が高まっているのではないかと考えられ、春だと数値が下がる可能性もあるので、このあたりは指標を解釈する際に考慮したほうがいいと思います。

事務局

- ・P.53の に関しては、保健所の予防課長とも議論をしたところ、今年は新型インフルエンザの関係で指標が高くなっていて、春先もしくは2、3年後、5年後には陳腐化する指標ではないかという意見もありました。
- ・そのため、新型だけでなく初期的な予防対策として目標を設定いたしました。ご指摘の通り、現状が69.1%という高い数字なので、目標としては現状維持の7割といたしました。

委員

- ・目標値を設定するにあたって、達成できなかった場合の非難を考えて達成しやすい数値を設定しがちですが、「目標を達成できるだろうという施策」と「少し夢を描いて高い目標を設定した重点施策」の区別はなさっているのでしょうか。

事務局

- ・区としての姿勢や方向性が出ているという点では、P15の 保育所待機児童数の目標値0などは重点施策です。0にするためには多数の施設整備が必要で、どの観点で数字を0とみるかという問題はありますが、人口推計に基づいて計算しますと最大で施設整備が80ヶ所必要となってしまいます。施設を建てれば経常経費の問題も出てきますので議論の余地はありますが、区の姿勢としては目標0としております。
- ・また、子育て支援に加え、P.19、20の学力・体力に関しまして、体力はこれから力を入れていくということで平均の100、学力は中学生が100、小学生は105などの数字を教育部門で出しています。
- ・環境の面ですが二酸化炭素の削減量なり、江東区役所の二酸化炭素排出量につきましては、マイナス点からの数値ですので行政として理想としての形を示していると思います。

委員

- ・P.21の 不登校児童・生徒出現率について、小学校が0.29%から0.20%になっており、約3割減位に設定してあるのに対し中学校は4割5分くらいの減になっています。これは中学校に重点を置いて行っていくという捉え方でよいのでしょうか。

#### 事務局

- ・そう理解していただいて良いです。また、具体的な施策事業で何をするかという、例えば、今後、主要事業の中で教師以外の支援員などを、時間数を増やして対応していくといった形で予算を投入していくといったことを考えています。

#### 委員

- ・P.57 ですが、「 保険・福祉の相談窓口が身近にあると思う区民の割合」が現状値 30.1% とかなり低い数値ですが、これは現実には少ないということなのか、それとも「あると思う」という認知度の問題なのか、どう捉えているかによって目標値が変わってくるのではないかと思います。
- ・次に高齢者が増えているためだと思いますが、「 要支援・要介護状態でない高齢者の割合」が 86.3% から 84.6% に下がっているということの問題、また P.59 の「 福祉ボランティアの登録者数」が現状値の正確な数値だけでなく、目標値が具体的な数字が出ているのは何か具体的な根拠があるのでしょうか。

#### 事務局

- ・1 点目ですが現長期基本計画のこれまでの経過から考えると、区としては特に低い数値とは思っておりません。10 年で半数という設定で目標値を 40% にしております。
- ・2 番目の要支援・要介護状態でない高齢者の割合については、区の介護保険事業計画で設定しておりますが、ご指摘の通り高齢者の高齢化率、後期高齢が伸びてくるため、86.3% ですと 13.7%、84.6% ですと 15.4% という出現率を推定し、84.6% という数値を設定いたしました。目標としてはもっと数値をあげるべきとの議論もありましたが、事業計画と違った数値は示せないということで 84.6% を掲げております。
- ・P.59 の 福祉ボランティアの登録者数ですが、今までは延べ人数で計上しておりましたが今回は登録者数に変更いたしました。目標値に関しましては社会福祉協議会の地域福祉計画に具体的な目標値がありましたのでその数字を使用しております。

#### 委員

- ・統計の話になるのですが、簡単な分析ソフトもあるので利用されてみてはどうでしょうか。多変量解析という解析法があるのですが、ある設問に対して関心の低かった人たちが、別の設問には関心が高いといった項目ごとの関連が分析できたりします。集団別の違った側面が見えてくると、結果の読み方も変わってくるのでトライされたらよいと思います。

#### 委員

- ・P.61 の 区の就労・生活支援センター等を通じて就職した障害者数ですが目標値 300 人で良いと思ったのですが、他の項目であったように平成 26 年度に至るまでに 1 年で何人、何% といった数字の積み重ねは考えているのでしょうか。

#### 事務局

- ・これにつきましては毎年 30 人を目指しております。また指標値は累積としております。

委員

- ・ 11 ページの「区民 1 人当たりの二酸化炭素の排出量」は、6.0 t から 4.1 t への減少ということで国の目標値よりも高いですが何か根拠があるのでしょうか。

事務局

- ・ 区では環境基本計画を作成中で議論を重ねており、4.1 t が大丈夫かと言われると、がんばりすぎではないかという意見もあります。この数字は確定ではないが区的环境への取り組みとしてはこれからの強い姿勢を示すこともあり、この目標値を低くするわけにはいかないと思っております。

委員

- ・ 母数は区民の数ですが、二酸化炭素の排出量の算出基準は何でしょうか。区内の事業所からの排出ガスや区民の自動車から出るもの等があると思うのですが。

事務局

- ・ 本日は手元に資料がありませんので、後日説明いたします。

委員

- ・ 9 ページの「資源化率」について、レアメタルの再資源化は例えば携帯電話などの場合、事業者が回収して取り出す場合が多いと思うのですが、この場合は資源化率の対象になるのですか。ここでいう「資源化率」には一般的にどういったものが含まれるのでしょうか。

事務局

- ・ 江東区の資源回収についてはびん、かん、ペットボトル、プラトレイ、蛍光管、乾電池などがあります。

委員

- ・ 先ほどのレアメタルなどはある程度利益になると思うのですが、そこはあくまで民間業者に任せるというスタンスなのでしょうか。

事務局

- ・ 現在、八王子と江東区でモデル事業を実施しておりますが、これは民間からの申し入れということもあり区が積極的にやるつもりはございません。
- ・ 今回指標を出すにあたっては、職員はかなり根づめてやってきましたが、本日、改めて委員より意見をうかがうと、やはり少々修正が必要かと思いました。2 ヶ月半の間に皆様に予め情報を提供し意見を伺っておけばよかったです。諸問題がありできませんでした。
- ・ 大変恐縮ですが素案を改めてご覧いただき、11 月 10 日までにご意見をいただきたいと思っております。現時点で所管ともかなり論議をしておりますので、見直すのはかなり厳しいと思っておりますが、皆さんの意見を伺って見直すべきとも思っておりますので、皆様のご意見を後ろ盾に、所管と協議したいので是非よろしくお願いしたいと思っております。

委員

- ・今回の計画の作り方の意義というものは、今までのように一部の有識者と政策部局だけで議論・作成を行うのではなく、区民アンケートが代表するように、市民の参画を得ながら、ある種の見直しを常に繰り返し行い、良いもの少しずつ近づけていくというメカニズムが存在するというを示すことが一番重要です。
- ・確かに、思いのほか目標値が最初から低過ぎて、あっという間に達成してしまったとしても、それはそれで評価されることであり、その次に新たな高い目標を設けていけばいいことで、最初の目標値が高すぎて現実的でないという意見が出てきた場合は、皆様の意見をもとに修正していけばいいことです。このようなメカニズムが、長期計画を策定する過程に組み込まれていることを区民に理解してもらうことは重要なことだと思います。
- ・今のステップで最善のものを設定し、今後実施する数回のアンケートを踏まえながら、その都度目標を変更しながら、少しでも良いものへと積み上げていくというプロセスであるということを、区民に理解していただかないと、この長期計画そのものの意義というものが失われてしまうと考えています。
- ・ですので目標値が高すぎるとか低すぎるとかということは、その都度議論する必要があると思いますが、結果的にしっかり区民に評価されるべきだと思います。目標が高過ぎて達成が困難であるという場合には、行政だけの責任にする必要はなく、再度見直していけばいいことであって、現段階で目標値をコントロール・精緻化するということなどは必要ないと思います。「その都度見直していく」という仕組み自体が、この計画の新しさなのではないでしょうか。

#### 事務局

- ・改めてご意見をうかがった上で考えてみると、やはりこの1ヶ月で急激に財政の見通しが利かなくなったことで、事務局が意識し過ぎてしまったということがあると思います。そういった状況を踏まえると、「これができないから、こう変える」というような目標値をその都度変えるというスタンスが、果たして正しいものであるかどうかを検討する必要があると考えているところです。皆様からのご意見を頂きながら、再度我々の方で検討していきたいと思っています。
- ・また、先ほどお話にもあがった「子育て」の話についても、区長へのお手紙やメールで非常に厳しいご意見を頂いているのですが、その割には区民アンケートでは好感触というような結果になっています。そういうことを配慮したときに、我々が長期計画において、何を採用していけばいいのかということを迷うところで、本当にサイレントマジョリティをきちんと把握できているのかという、率直な疑問もあります。今あるものをひっくり返す訳にはいかないのですが、もう一苦労しながら、再度まとめなおしていきたいと思っています。

#### 会長

- ・まだまだ皆様からのご質問等がおありのことだと思いますが、部長からのこういった発

言を踏まえた上で、改めて資料に目を通していただき、文書による意見メモを提出していただきたいと思います。

委員

- ・資料 43 の 7,8 ページにある「 大気環境基準達成割合」や「 河川水質環境基準達成割合」のように、現状値が 100%となっているものがありますが、これは法的基準や根拠に基づいたものなのでしょうか。
- ・おそらく、そういった根拠によるものであると思うのですが、折角、BOD など語句に関する記載もあるので、基準に関する注釈も加えた方がよりわかりやすくなると思います。

事務局

- ・同じように注釈を加えていきたいと思います。

委員

- ・資料 43 の 15 ページ「保育サービスの充実」についてなのですが、先ほど、保育所を 80 ヶ所整備しなければならないとおっしゃられていましたが、1 家族で何人の子どもが生まれると想定しているのでしょうか。

事務局

- ・平成 12 年度の東京都の出生率を使っております。

委員

- ・きちんとした環境が整備されている保育園があると、次の子どもを産もうという傾向が強まっているという実例もあるので、そういった傾向にも配慮していただきたいと思います。

事務局

- ・保育園に関わることは、今示していること以外にも意見は挙がっており、需要率や出現率といったものを考慮していかなければ考えています。整備を進めていかなければならないと考えている一方で、過大な整備になってしまわないかという不安もあります。地域での差が大きく、ある地域では定員割れしているというような現状もあることから、他地域との統廃合も必要になってくると思います。ただし、供給が需要を呼んでしまうという点を数値化して見ていくことは難しいところです。

会長

- ・保育待機児童を 0 にするということは際立っており、決意を表明していただいたということです。この件についても、まだご意見があると思いますので、それぞれ意見メモを提出していただきたいと思います。

## 5 . 今後のスケジュールについて

会長

- ・それでは、今後のスケジュールについてご説明お願いいたします。

事務局

- ・資料 44 についてご説明し忘れましたが、現状の長期計画の素案の中での修正箇所を示してあります。書き方や事業の動き等で修正が迫られた箇所について修正を行いました。
- ・今後のスケジュールについて、資料 45 をご覧ください。当初では 11 月 27 日に、これまで議論していただいた分野別計画をまとめたものをご報告して会議を終わろうと予定していたのですが、現在、主な事業の選定、事業費の割振り等を行っております。
- ・最終的には 2 月に議会へ計画案を提出する予定ですが、その提出前にもう一度策定会議を実施させていただきたいと考えております。それまでに完成版をお見せできればよかったのですが、それができない状況であるということで、2 月に策定会議を実施させていただき、完成版をご報告し、終わらせたいと考えておりますので、ご了承いただきたいと思います。

会長

- ・ご異論はございませんね。それでは、よろしくお願いいたします。

## 6 . 開会

会長

最後に、そのほかの連絡事項等がございますか。

事務局

- ・11 月 10 日までに、成果指標についてのご意見をいただきたいと思います。その際に、お名前を記載していただくこととなりますが、ご意見を頂戴したということを確認するために必要ですので、ご了承していただきたいと思います。以上です。

会長

- ・会議はこれにて終了いたします。次回は、11 月 27 日金曜日の 19 時からです。

以上